

(別紙) J A R I P 第 2 回研究会

**「資本政策とリスクマネジメントへの統合的アプローチ
～最新手法の展開と具体事例の分析～」**

講師 酒井重人氏

スイス・リー・キャピタルマーケット証券会社東京支店

在日代表取締役東京支店長

日時 平成 17 年 1 月 20 日 (木) 午後 4 時 ~ 午後 6 時 30 分

欧米の大企業や大手金融機関では、リスク・マネジメント手法を一層進化させ、資本管理政策との一元的なアプローチを進めています。ART (代替的リスク移転) の分野では、例えば証券化手法がより一般的となり、資本市場との関係が進んでいます。当研究会では、最近の統合的資本リスク・マネジメント手法の理論的枠組みを、伝統的な保険によるリスク移転手法や、コーポレート・ファイナンスの視点から比較検討しつつ、実際の手法構築についての議論が出来ればと思います。また最近の手法の具体的な事例を紹介するとともに、かかる手法への意思決定を考える一助となればと思います。

1. 企業経営と資本・リスクマネジメントの統合的アプローチ

代替的危険移転 (ART): 最近の展開

リスクマネジメントとコーポレートガバナンス

企業収益の安定性と企業評価: 実証研究

資本・リスクマネジメントの統合モデル: 理論的枠組

オフ・バランス資本によるストレス損失へのプロテクション

統合的リスクマネジメントの手法構築に向けて (実務上の課題等)

2. 最近の事例について

保険リンク証券手法の発展: 発行市場と投資動機の分析等

「コミットティッド・キャピタル」による、非常時の資本プロテクション

リスク・スワップ等